夕刊
磐城時報
七日
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷人
印刷所　加納活版所
發行所　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金壱錢
廣告料一行十二字詰五十錢
日刊（日曜祝祭日）翌日休刊

市長選擧の市會
青沼氏滿場一致か
各種委員選擧で
賑はひを豫想さる

平市會は十日午前十時から召集されるが、議案は左の如く盛澤山で、各種委員の選擧を始め市長選擧等あり各派各々秘策を練つてをり質問等も續出を豫想され賑やかな場面の展開を豫想し傍聽人も相當多いだらうと見られてゐる。尚ほ市長は滿場一致で青沼鋒太郎氏に決定する事は確定的である

一、昭和十二年度平市歳入出追加豫算の件
一、同年度特別會計基本財産歳入出追加豫算の件
一、特別税戸數割條例の件
一、特別税戸數割條例施行規則の件
一、公告式條例の件
一、常設委員設置規則の件
一、學務委員設置規則の件
一、傳染病豫防委員設置規則の件
一、市醫設置規則の件
一、名譽職員費用辨償報酬額及支給條例の件
一、吏員給料旅費支給條例の件
一、學校授業料免除規則の件
一、平消防組組織變更の件
一、平消防組諸給與規則の件
一、都市計畫委員選擧の件
一、區長及區長代理者推薦の件
一、臨時委員推薦の件
一、市參事會委任事項議決の件
一、市長選擧の件
一、市制第九十一條に依る處分事項報告の件　以上

盛んなラヂオ体操
一日四千名集合
昨年より好成績

平各小學校のラヂオ体操は一日から開始されてゐるが六日迄の出席者は三万二千百六十九人で、昨年より三千四百五人の增加である。一日三四三〇人、二日三六〇四人、三日三六五三人、四日三七二〇人、五日三七九八人、六日三九六四人で逐日增加し七日には四千名に達し全市民の健康に對する認識が高まつた結果として喜ばれてゐる。

自動車税
輕減運動

縣自動車協會副會長野崎滿藏、坪井万三の兩氏は六日出縣し自動車税輕減について左の如く陳情した。縣に交付される地方財政調制交付金九十四萬圓の内幾何でも縣税雜種税の自動車税輕減に充當して貰ひ度い。

平助成會で
貧困者救濟

平助成會では例年の如く舊盆に際し極貧者を救濟する事となり各區長に該當者の調査を依頼したが、從來の例に鑑み救濟される事を特權の如く心得てゐる者もあるのでこの方面に充分の考慮を拂ふ方針である。

出征軍人遺家族
無料診療の申合
石城郡醫師會で

石城郡醫師會では役員會を開き出征軍人遺家族に對し無料若くは半額で診療を行ふ事にした。

保健組合で
國防献金

平警察署管内保健組合平支部では會員一名一圓宛醵出計二十九圓を國防費に、内郷村金坂納税組合では十圓を慰問費として平署に寄托した。

日大醫學部
同窓會

石城郡在住日本醫科大學同窓會は十二日午後三時から平市住吉屋本店に開くが、平市の出席者左の如くである。
池谷宗三郎、吉田久雄、金成忠義、增田之、鈴木正男、市原三三男、黑澤廣、大河内一郎

勿來海岸から
平第一臨海學校便り

【第五信】
たのしい「レコートコンサート」を夕食前に、茶話會等のおやつの友としていただきました。
（八月五日）

兒童の作品
日記の一節
「海」　尋五　大嶺慶一
「ピイー」と呼笛が鳴つたと思ふと、皆砂に集まつてゐたのに、「わーつ」といふ聲を立てゝ海に入つた。夏の日がカン〳〵とてりつけてゐる。大きい波がいまにもくづれさうになつて來たと思ふと、僕の頭へザンブとかぶさつた。「アッ」と思つたが體が倒れてなか〳〵起きられない。やうやく起き上つた。前に柏君がゐた。くやしまぎれに柏君をしづめてやらうと思つて頭をおしたが相手は小さいのでつゝりとすべつて反對にのめりはぐつた。その中に先生方も入つて來た。それから何十分たつたらうピイーと先生の呼笛がひゞいた、赤帽赤フン。黑ン坊のみんなはをしさうに陸にあがつた

水平線の方に白帆が浮いてゐる。

【第六信】
今日で六日、あと二日、何んとなく名殘りのおしいやうな氣がします。今日は待つてゐた平潟へ遠足の日。朝の食事が終る丸辨當をつくるのに大さと先生方はお辨當一日のわぎです、清水校醫はじめ、鋤口、平塚兩先生がお見舞に來て下さつたのにおにぎりへのお手傳ひです。お母さん達も見えたが、たすきがけ、鈴木先生（勿來尋常の校長先生）の奥さんはじめ元いやさんの汗を流しての應援です。先生方は黑い手で丸いの四角の、大きいの小さいの色々の形のものが出來るさわぎ―テレビジョンがあつたらお家の人々に見せてあげたい奮鬪ぶりでした。

× × ×

お辨當とグリコ、ドロップのお菓子を包んで出發しました。途中浴場で二つ島を背景に記念撮影―わざ〳〵出張してくれた中島寫眞屋さんを―しました。九面の海岸を過ぎ縣境に來た時は―おい俺は茨城縣だぞ。お前は福島縣だらう―なんてのたわいもない言論戰がとつさの間に出ました。平潟八幡宮に參拜して、岡の上より平潟港のよい景色を見下して海に入りました。

水難救濟會で
資金造成協議
具体的活動を企劃

郡下各濱の水産難救濟會支部は資金難のため充分の活動が出來なかつたが、小名濱漁業組合では七日午前十時から同組合樓上に本部理事高木富次郎、石井二郎の兩氏並に八卷平署長等を招き今後の資金造成策方針等を協議した。愈々救命艇の設備や水難者遺族救護等實質的活動に入る事になつた

避難した家に落雷
黑焦げとなつて慘死

田人村坪内農伊平治妻小野ちゆうさん（三二）は五日午後二時頃一家四人で畑の除草中雷雨に遭ひ附近の小野あい方に避難した處同家に落雷し親柱を背にしてゐたちゆうさんは黑焦げとなつて慘死し、その他は無事であつた。

▲大野村長決定

大野村長木村正夫氏は去る二十五日辭職したが三日村會を開き吉田保之助氏に決定した。

▲衣類整理講習

平女子青年團主催の衣類整理講習會は七日午前八時から第二校に開かれた。講師は東京市藥化學研究所の齋藤衛氏で、クリーニング、防水、加工等で受講者二百名、八日間も續開する。

國防費寄附
感心な集配人

四倉町仲田居住四倉局集配人岡田重一（二八）は此程疾病の爲歸郷したが奉公の一端として五日國防費に貳拾五圓を献金した。

藥劑士　堀功調劑
よく効くめぐすり　神教水　一瓶　二〇錢
發賣元　魁文堂

第二校で
籠球練習

平第二校では今秋女子師範學校に開かれる縣下小學校兒童籠球大會に出場のため尋常科、高等科共猛練習を行つてゐる。

平第一
乙種臨海學校

【第四信】
四つ倉への遠足
小松原を　歩いて行く
サク〳〵と　鳴る砂の音
松の葉風　波の呼び聲
白い道は　未だ遠い
小松葉越し　海が光る
ヒカ〳〵と　白帆は遠い
揃つて行く　僕等は元氣
四つ倉には　もう直ぐだ
今日は四つ倉へ遠足だといふので僕等は朝からもう嬉しさで一ぱいだつた。隨分暑かつたので午前中は水遊びをして暮した。お晝が終るといよ〳〵遠足の用意をして出發だ。本先生が先頭に立ち、僕等は一列になつて松原の道を四つ倉へ進軍だ。

× × ×

四つ倉はやつぱり賑かだ。青い海、白い砂、美しいビーチ、パラソルが其の間に花が咲いた樣だ。砂原に着物をぬいで海へ入る。淺い海だ。海で思ふ存分泳ぐのは今日が始めてなので夢中で泳ぐ。やつぱり四倉はいゝ所だ。

四倉で
浴客慰安

四倉海水浴場脫衣賣店組合では浴客慰安のため八日午前十時半より脫衣場前に於て寶探し、角力等を行ふ。

▲内郷の違反

内郷村高坂炭礦坑夫田崎義正（三五）は六月九日執行の同村議選擧に際し候補者渡邊安吉氏の運動員淺野東光氏に對し確實なのが十票あると賣込みをしたが拒絶されたこと平署に發覺六日檢事局に送られた。

四倉海水浴場開き

七月十八日各店一齊開業（仲町・海岸）

◈縣下第一の海水浴場!!

☆見渡す限り大海な原
夢見る樣な夜の海

◎各種運動具設備　浴客慰安の催ほし

◎夜間營業　午後十時マデ

◇海水浴には是非
安全なる海の四倉へ

衛生上には大適地の白砂地帯
—（水道の設備あります）—

四倉海水浴場組合

賣店順（東より）

はま美賣店
清水屋賣店
大平館
金木屋（別名メジロ）
初音賣店
池田屋
米好
なべや賣店

★初夏の氣分と行屆いたルームお出をお待ち致します

グリル
珈琲と御食事
バッカス
電話七〇二

女店員募集
全部給料制度
品位良き方を望む
經驗無きも良し

氷は魚清!!

電話四六七番へ

本店　平二丁目警察署通り
魚清氷卸部

支店　江名町築港内
江名販賣所
電話六九番

（配達人數名至急入用）

海水浴場賣店開設

本年も又開店致しました

白砂地帯の絶好の場所
仲町海岸を撰びました

☆水道の設備もあります

安全で衛生的の好適地！

サービス滿点の勉强振り
是非御來遊をお待ち申して居ります

團体歡迎！特に御相談致します

電話一三〇番を御利用下さい

四倉海水浴場
清水屋賣店

佐藤寫眞館　佐藤藥店經營
電話一三〇番

新車御披露

◈暑中御伺ひ

此程新車三七年型後期製
セダン車が入車致しました

◈乘り心ちの好い新車を
御利用下さい

何時にても御不自由を御掛け致しません

貸切專門
御客本位
四倉町仲町
田村屋タクシー
電話（一三）番

貸ボートと釣

丹後澤は招く!!

磐城史上にその名を誇る丹後澤の水は滿々とたゝへ鏡の如き水面には新裝こらしたボートが吾等を招き！幾百年の謎を秘めた水中には無數の鯉魚が太公坊を呼んでゐます。

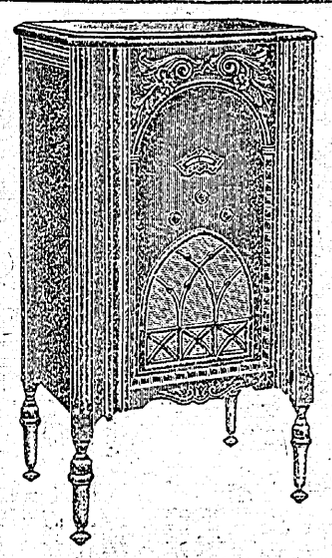
將にこれ！平市のパラダイス

一日の清遊は
是非丹後澤へ!!

丹後澤遊覽會
「花友」八田與市
平市白銀町　電話六九五番

市制記念

斯界の最高峰
パンドーラ電氣蓄音機陳列會
會期＝自七月一日＝至八月十日



毎週土曜、日曜—午後八時より十時迄
ビクター
コロンビア
ティチク
レコード演奏致します。

會期中は特に景品付
レコードの特賣致します。

御散策旁々是非御試聽に御立寄を
御待ち申して居ります。

會場　平市驛前通り
富永ラヂオ店
電話四九六番

會期中特價
百圓より
貳百五拾圓迄

專門科

◈入院應需

平市南町
上田外科
電話一二九番

貸家

◈場所は大浦村上仁井田（元製糸工場向）

間數—拾疊二間、六疊敷一間、臺所付
四倉驛へ二丁、海岸へ一丁、四倉町へ一丁

◈商店又は勤め人むき

★御希望の御方は四倉仲町和泉屋に御申込下さい。（建家新築）

四倉町仲町
和泉屋
電話七三番

亡夫傳三郎新盆に相當り候處時節柄提灯その他の供物勝手乍ら一切御辞退申上度く以紙上御願ひ申上候

平市田町
三盆　渡邊ミイ

迎接院新盆に相當り候處時節柄甚だ勝手がましく候へども提灯その他供物一切御辞退申上度く以紙上御願ひ申上候

平市田町
野崎滿藏

謹啓

盛夏之候益々御清祥の段奉賀上候陳者大雄院新盆に相當り申候に就ては甚だ勝手乍ら當方の都合有之提灯其他供物等一切御遠慮申上候に付御了承賜り度此段御願申上候　敬具

昭和十二年七月二十九日
平市南町
萩原節夫